

第7次尾鷲市総合計画等の策定に係る「市長インタビュー」要旨

「地域医療体制の確保」

- ・地域医療については、財源の問題から現状からの縮小を勧められているが、命の問題であり、また、総合病院は尾鷲の特異性の一つであり、総合病院 尾鷲といっても良いため、縮小は考えていない。総合病院の維持による高水準の地域医療が、高齢化社会の中での尾鷲の持続に重要な要素である。
- ・尾鷲総合病院では、毎年大きな赤字が出ているが、尾鷲総合病院改革プランを基に、様々な方向から病院運営の改善・財源の確保を行っていくことが重要となる。

「財政の健全化」

- ・財政については非常に切迫しており、令和元年度の予算案では残りが 4,000 万円しかなかった。職員の削減や学校の統廃合など、様々な経費の削減を行ってきたが、今後、行政サービスを維持するためには、まずは財政健全化を図ることが必要。
- ・様々な面で経費の削減を行ってきたが、市民には浸透しておらず、食い違いがあると思う。市民と行政の繋がりを強くし、そのような情報・取り組みを共有することも重要となる。

「新しいひとの流れの創出」

- ・少子高齢化や産業の衰退から、急激な人口減少が進んでおり、新卒者が就職できる場所も少ない。移住定住事業も実施しているが、社会減のスピードはそれを上回っているため、交流人口によって新たな人の流れを創出する仕掛けが必要。
- ・人の流れの創出のためには、コロナ禍の地方部への注目が高まる中、尾鷲の自然などの魅力を活用・発信し、先ずは来てもらうことで交流人口とし、それを起点にゆくゆくは定住に繋げていきたい。
- ・中部電力の跡地を活用した SEA モデル構想により、産業を興すことで新卒者の働ける場所を創出し、サービスの拠点を作ることによって交流人口を高める術を考えていきたい。

「計画を策定する際に重視する点」

- ・計画を策定することも重要であるが、それをどのように実行するかが更に重要である。実現性・実効性があり、かつ市民の皆様に理解され納得される、分かりやすい内容の計画とすることが重要。
- ・人口減少が進む中でも市政を維持するため、現役世代と高齢者のバランスを取り、社会減を緩やかにする仕掛けが重要であり、そのため、同時に策定するまち・ひと・しごと創生総合戦略の内容も重視する必要がある。
- ・総合計画を軸とした行政経営システムの中で PDCA サイクルを活用し、検証・改善を行いつつ、6 次計画より一歩踏み込んだ総合計画にしなければならないと考えている。
- ・少しずつでも実現していくことが重要であり、SEA モデルでも交流人口の目標を少しずつでも達成・具現化していければ良いと思う。そのためにメインとなる部分はじっくりと考え、サテライトの部分はアイデアレベルでもどんどん考え、順に実現できれば良いと思っており、また市民のアイデアを実現することにより、SEA モデルの場所を市民の憩いの場にできると思う。

「市ホームページ内「市長の部屋」における課題について」

- ・市ホームページ内の「市長の部屋」における「経済基盤の整備」「子育て環境と教育環境の整備」「くらしの安全・安心を守る」については、全世代に及ぶことであり、一体となって並行に進める必要がある。
- ・若者が働ける場所を未来へ繋げる経済基盤を整えるため、中部電力跡地の活用を成功させることは若者を尾鷲にとどめるためのターニングポイントと考えている。
- ・子供は地域の宝物。育てる・守るは地域の役目であり、子どもをすくすく育てるためのイベント・支援等のソフト面に併せ、賛否両論あるが、学校という集団生活・教育環境を充実させるための学校統廃合などのハード面での環境整備も必要だと考えている。
- ・高齢化社会の課題については、旧尾鷲町以外の集落の移動手段の確保と考えている。集落支援員・民生委員を充実させるなどを考えているが、今後いかに医療・買い物・介護などのサービスを強化し、困っているお年寄りが安心して暮らせるまちづくりができるかを検討する必要がある。

「国土強靱化地域計画について」

- ・国土強靱化において、重要となるのは道路網の整備と考えている。車社会の尾鷲において災害時に逃げる手段は車であると思うが、あのガタガタで狭い道では逃げるできないと思う。
- ・地震・津波を想定し、避難場所・避難所の確保も重要となる。それに加え、その後の仮設住宅の建設など、災害時の構想を十分に想定する必要がある。まちの被害の軽減も重要であるが、どのようにして命を守るかが最も重要である。

「SDGs、society5.0などの新しい動きについて」

- ・新しい動きについては、計画に関連付けるべきと考えている。SDGsの内容は尾鷲でも当然推進すべき事柄であり、計画に入れ込むべきと思うが、重要なのはそれにより具体的に何を実施するかであり、形だけのものでなくすることである。
- ・society5.0についても、AIの活用等は今後の社会において当然重要なものであり、計画への反映をすべきである。SDGsやsociety5.0などをうまく活かして持続可能なまちを作り上げることが重要と考えている。

「次期総合計画の将来像や理念・キーワードについて」

- ・やはり実効性があり、分かりやすい計画であることが重要であり、計画の中身を実現させるには市民の協力が欠かすことはできないと考えている。そのためにも市民の皆様に理解されるように、分かりやすいものにすることが重要であり、それを繰り返しPR、納得してもらうことが重要である。
- ・何かの内容を特化させた「とんがり帽子」のものを入れることも必要であると思う。その活動を市民の皆様にPR・共有しながらともに実現し、尾鷲市の今後「興味」「夢」を持ってもらえるようにすることが重要である。
- ・市民の皆様に「夢」を与え、そしてそれを何年後かにきちんと作り上げ・実現するために、時間軸を意識した計画としなければならない。